

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330242042	幼小連携 Cooperative Study of School	梅田康典		専門	2	選択	4後期

科目の概要

5歳児と1年生の学びをつなぎ・なめらかな接続を図ることや幼小連携の現状・課題・方策等について事例研究する。そして、接続期カリキュラムの作成や実践事例から見えてきたことや連携において大切にすること等について研究する。公立小中学校の教員を37年間務め、三河教育研究会や岡崎市現職研修委員会の生活科部会で要職を務め、市内全小学校でのスタートカリキュラム実施に尽力した。生活科を中心とした幼小連携の授業実践や幼児教育研究を生かした講義を行う。

学修内容	到達目標
① 幼小連携の意義や目的、その経緯について幼稚園教育要領・小学校学習指導要領から読み解き、理解する。 ② 幼小連携の実際を資料やVTRから知り、その良さや課題に気付く。 ③ 幼小連携のあり方の事例を調べ、まとめることを通してより望ましい方策を考える。 ④ 接続期カリキュラムの事例研究を通して、カリキュラムデザインのあり方を考察する。 ⑤ 事例研究やプレゼン発表にグループで取り組むことを通してコミュニケーション能力や協働的な学びを深める。	① 幼小連携の意義や目的について幼稚園教育要領・小学校学習指導要領から読み解き、理解することができる。 ② 幼小連携の実際を資料やVTRから知り、その良さや課題に気付くことができる。 ③ 幼小連携のあり方の事例を調べ、まとめることを通してより望ましい方策を考えることができる。 ④ 接続期カリキュラムの事例研究を通して、カリキュラムデザインのあり方を考察することができる。 ⑤ 事例研究やプレゼン発表にグループで取り組むことでコミュニケーション能力や協働的な学びを深めることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	授業内容を進んで理解しようとし、課題についての自分の考えを発言したり、グループワークに積極的に取り組んだりすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	授業で学んだことを日常生活や他講義にも生かしたり、グループワークの取り組みを協力し合ってまとめ、プレゼンとして発表したりすることができる。
考え抜く力	課題発見力	講義内容や実践していることに疑問点を見つけ、課題として追究しようとしたり、自分自身を振り返り、今後何にどう取り組んだらよいのか考えたりすることができる。
	計画力	
	創造力	グループワークで取り組んだことを分かりやすくプレゼンすることができる。
チームで働く力	発信力	グループワークで取り組んだことをまとめ、分かりやすく発表したり、相手に分かりやすく伝えたりすることができる。
	傾聴力	講義内容や話し合いでの人に意見に、真摯に耳を傾け、相手の考えを理解しようとすることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	授業でのマナーを守り、周囲に迷惑をかけないような配慮をすることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

参考文献
 幼稚園教育要領 平成20年・平成29年（文部科学省）
 小学校学習指導要領解説 生活編 平成20年・平成29年（文部科学省）
 発達や学びをつなぐスタートカリキュラム—スタートカリキュラム導入・実践の手引き 平成30年学事出版
 遊びと学びをつなぐこれからの保幼小接続カリキュラム（事例でわかるアプローチ&スタートカリキュラム） 令和元年チャイルド本社
 あそびの中の学びが未来を開く 幼児教育から小学校教育への接続 令和2年世界文化社

他科目との関連、資格との関連

保育・教育に関するすべての科目、保育士、幼稚園教諭免許、小学校教諭免許

学修上の助言	受講生とのルール
・講義内容についてしっかりメモやノートを取り、次時の小テストに備える。 ・講義内容やグループワークにおいて疑問点があれば積極的に質問する。	・授業中、私語や居眠り厳禁。携帯やスマートフォンはカバンにしまい、マナーモードにしたり電源を切ったりする。 ・遅刻2回で1回の欠席とする。5分以上遅れたら遅刻とみなす。遅刻したら、理由を説明してから着席する

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	平常評価	小テスト	30	①	✓	
				②	✓	
				③		
				④	✓	
				⑤		
		レポート	30	①	✓	
				②	✓	
				③		
				④	✓	
				⑤		
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	30	①		
				②		
				③	✓	
				④	✓	
				⑤	✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		
			②	✓		
			③			
			④			
			⑤			
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>①幼小連携の意義や目的、経緯について幼稚園教育要領・小学校学習指導要領から読み解き、理解することができる。（小テスト8割以上S, 7割以上A）</p> <p>②幼小連携の実際を資料やVTRから知り、その良さや課題に気付くことができる。</p> <p>③幼小連携のあり方の事例を調べ、まとめることを通してより望ましい方策を考えることができる。</p> <p>④接続期カリキュラムの事例研究を通して、カリキュラムデザインのあり方を考察することができる。（②～④についてレポート記述8割以上はS, 7割以上はA）</p> <p>⑤事例研究やプレゼン発表にグループで取り組むことを通して、コミュニケーション能力や協働的な学びを深めることができる。</p>	<p>①幼小連携の意義や目的、経緯について幼稚園教育要領・小学校学習指導要領から読み解き、理解することができる。（小テスト7～8割）</p> <p>②幼小連携の実際を資料やVTRから知り、その良さや課題に気付くことができる。</p> <p>③幼小連携のあり方の事例を調べ、まとめることを通してより望ましい方策を考えることができる。</p> <p>④接続期カリキュラムの事例研究を通して、カリキュラムデザインのあり方を考察することができる。（②～④についてレポート記述7割以上）</p> <p>⑤事例研究やプレゼン発表にグループで取り組むことを通してコミュニケーション能力や協働的な学びを深めることができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・オリエンテーション(授業及び社会人基礎力、評価) ・幼小連携の目的と意義について理解する	講義 グループによる演習	幼小連携の目的と意義を考え、ノートに記入することができる。	(予習)シラバスを読んで授業内容を理解したり、必要な教材をそろえておく。 (復習)幼小連携の目的と意義についてノートにまとめる。	90	主体性 傾聴力 規律性
2	「小1プロブレム」の実態を知り、原因を考察する	講義 グループによる演習	「小1プロブレム」の実態を知り、原因についてグループで話し合い、自分なりの考えを述べることができる。	(予習)「小1プロブレム」とは何かについて調べる。 (復習)「小1プロブレム」の実態とその原因について振り返り、復習する。	90	主体性 課題発見力 創造力
3	幼小連携の経緯を幼稚園教育要領・学習指導要領等を利用し、その変遷から理解する	小テスト 講義 グループによる演習	幼小連携の経緯を幼稚園教育要領・学習指導要領の変遷から知り、ノートに記入することができる。	(予習)幼小連携の経緯について調べておく。 (復習)幼小連携の経緯について幼稚園教育要領・学習指導要領の変遷を振り返り、復習する。	90	主体性 傾聴力 規律性
4	幼小連携の実際について、資料やVTRなどの事例を基に理解する	小テスト 講義 グループによる演習	幼小連携の実際について、事例を知り、それについて気付いたことをノートに記入することができる。	(予習)幼小連携の事例を調べておく。 (復習)幼小連携の実際について、事例を振り返り、その他の事例についても調べる。	90	主体性 傾聴力 規律性
5	幼小連携の交流のあり方を調べ、グループごとにまとめ、発表準備をする	講義 グループによる演習	幼小連携の交流のあり方を調べ、まとめたことについて発表準備をすることができる。	(予習)幼小連携の交流のあり方について調べる。 (復習)幼小連携の交流のあり方を調べ、まとめたことについて発表準備をすることができる。	90	主体性 創造力 発信力
6	幼小連携の交流のあり方について調べたことをグループごとにプレゼン発表とディスカッションする。	講義 グループによる演習	幼小連携の交流のあり方を調べ、まとめたことについて発表の準備とその練習をすることができる。	(予習)幼小連携の交流のあり方について調べたことをどうまとめるか考えておく。 (復習)幼小連携の交流のあり方を調べ、まとめたことについて発表準備をし、練習する。	90	実行力 発信力 傾聴力
7	幼小連携の交流のあり方について調べたことをグループごとにプレゼン発表とディスカッションする。	担当グループによる発表 質疑応答 講義	発表者として幼小連携の交流のあり方を自分なりの方法と視点で伝えることができる。 聞き手として、幼小連携の交流のあり方を発表者から聞き取り、自分の視点とに違いに気付くことができる。	(予習)プレゼン発表の練習をする。 (復習)発表者は自分のプレゼンを振り返り、課題を見出す。聞き手は次回の発表に向けた練習をする。	90	実行力 課題発見力 発信力 傾聴力
8	幼小連携の交流のあり方について調べたことをグループごとにプレゼン発表とディスカッションする。	担当グループによる発表 質疑応答 講義	発表者として幼小連携の交流のあり方を自分なりの方法と視点で伝えることができる。 聞き手として、幼小連携の交流のあり方を発表者から聞き取り、自分の視点との違いに気付くことができる。	(予習)プレゼン発表の練習をする。 (復習)発表者は自分のプレゼンを振り返り、課題を見出す。聞き手は自分の発表との違いを見出し、良い点や課題についてノートに記入する。	90	実行力 課題発見力 発信力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	接続期カリキュラムについて事例を基に理解する。	講義 グループによる演習	接続期カリキュラムについて、事例を知り、それについて気付いたことをノートに記入することができる。	(予習) 接続期カリキュラムについて調べる。 (復習) 接続期カリキュラムについて、事例を振り返り、その他の事例についても調べる。	90	主体性 傾聴力 規律性
10	アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムについてグループごとに事例研究をする。	講義 グループによる演習	アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムについて調べることができる。	(予習) アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムについて事例を調べる。 (復習) アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムについて調べ、ノートにまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力
11	アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムについてグループごとに事例研究したことをまとめ、発表準備をする。	グループによる演習	アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムについて調べ、まとめることができる。	(予習) アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムについて事例を調べ、まとめる。 (復習) アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムについて調べたことの発表準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力
12	アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムについてグループごとに事例研究したことをプレゼン発表する。	グループによる演習	アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムについて調べ、まとめたことについて発表準備をすることができる。	(予習) アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムについての事例について発表の仕方を考える。 (復習) アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムについて調べたことの発表準備をし、練習する。	90	主体性 実行力 創造力
13	アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムについてグループごとに事例研究したことをプレゼン発表する。	担当グループによる発表 質疑応答 講義	発表者としてテーマについて自分なりの方法と視点で伝えることができる 聞き手として、テーマについて発表者から聞き取り、自分の視点との違いに気付くことができる。	(予習) アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムについての事例について発表の練習をする。 (復習) 発表者は自分のプレゼンを振り返り、課題を見出す。聞き手は次の発表に向けた練習をする。	90	実行力 発信力 傾聴力
14	アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムについてグループごとに事例研究したことをプレゼン発表する。	担当グループによる発表 質疑応答 講義	発表者としてテーマについて自分なりの方法と視点で伝えることができる 聞き手として、テーマについて発表者から聞き取り、自分の視点との違いに気付くことができる。	(予習) アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムについての事例について発表の練習をする。 (復習) 発表者は自分のプレゼンを振り返り、課題を見出す。聞き手は自分の発表との違いを見出し、良い点や課題についてノートに記入する。	90	実行力 発信力 傾聴力
15	幼小連携のあり方について振り返り、まとめる。	講義	幼小連携の望ましいあり方について、自分の考えをノートにまとめ提出することができる。	(予習) 幼小連携のあり方について、まとめておく。 (復習) 幼小連携の望ましいあり方について、自分の考えを振り返り、整理する。	90	主体性 実行力 課題発見力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力